

湘南の風を世界へ

黒岩 祐治 知事

湘南高等学校の創立100周年に際し、心からお喜び申し上げます。

湘南高等学校は、前身の湘南中学校の初代赤木愛太郎校長の掲げた「日本一の学校に」の信念と、「文武両道」の理念を継承し、全日制はもとより、定時制や通信制における教育にも力を入れ、豊かな才能を育み、大正から令和の今日までの長きにわたり、わが国のみならず国際的に活躍する多くの卒業生を輩出してきました。

超高齢社会の到来やグローバル化の進展など急激に変化する社会では、予測困難なさまざまな課題への対応が求められます。

湘南高等学校が、自ら打ち立てた「最も困難な道に挑戦せよ」という行動指針に沿って、今後も高いレベルの文武両道の実践により、忍耐力や共感性、変化への適応力を備え、グローバル社会を牽引する人材を育成されることを期待します。

輝かしい伝統を礎に、新たな時代を切り拓く、活力ある学校として、さらに飛躍されますことを祈念いたします。



グローバル社会牽引を

上野 孝 湘友会会長



伝統の襷、国際社会へ

まず、湘南高校が、1921（大正10）年、県下6番目の公立中学として藤沢の地に誕生し、今年100年目を迎えることが出来たことに深い感慨を覚えております。

同窓会組織である湘友会は、在校生がこれまでの伝統の襷を受け繋ぐ一方で、新しい母校の歴史を創造し、将来、日本に止まらず世界で活躍してもらいたいとの願いから、いくつかの100周年記念事業を展開してきました。

その一つは湘南高校の素晴らしい伝統の源泉となった初代校長赤木愛太郎先生が遺された「文武両道」、「智・徳・体」、「普く、絶えず、正しく、強く」という言葉に改めて光を当てたことです。この赤木イズムの具体的な事例は、全国高等学校野球選手権での優勝や根岸英一さんのノーベル化学賞受賞に見ることができ、今日に至るまで強靱な精神的バックボーンを湘南生に与え続けております。

このたび、100周年を記念し、赤木先生の教育の神髄に触れる象徴的な場所としての「赤木苑」を再整備いたしました。次なる100年を担う学校関係者に赤木先生の精神を伝えていくシンボルゾーンとして心に留めてほしいと願っております。それとともに、「多様」「多彩」「多才」な生徒たちが「知」と「情」の両面において大きく羽ばたいてほしいとの願いを込め、「飛翔」と名付けた記念モニュメントを学校に寄贈しました。

もう一つは、公益財団法人「湘友会奨学財団」を設立致したことです。

これは、将来、世界で活躍しようとする意志を持つ、積極的・創造的・意欲的な生徒を在校時から支援するもので、この財団（奨学金）の基盤となるものは、湘友会会員の方々からの多大なるご厚志によるものであります。おかげさまで財団として順調なスタートを切ることができ、奨学金も、この3年余りで、延べ40人ほどに給付することができました。

100周年を機に「湘南の風」が広く世界へと吹き渡っていくことを心より期待しております。



池辺直孝校長



初代校長 赤木愛太郎氏

同校は1921（大正10）年に県内6番目の旧制県立湘南中学校として創立。48年に県立湘南高校と改称される直前までの27年間、校長として礎を築いたのが赤木校長。「智・徳・体」三位一体の融和した人材を育てる「日本一の学校を目指した」。「常に生徒に日本一を意識させ、誇りを持たせるため、学帽に一筋の白線を入れた。自ら優れた教師陣も集めた」

校歌は「当代一流」といわれる



体育祭の花形の仮装演技。1年前から準備して演技を競い合う

「世の中では、タイパシティ（多様性）やリベラルアーツ（実社会で活躍できる総合力のある人間の育成）がクローズアップされているが、実は赤木校長が大切に、続けたこと。百年前に赤木校長が目指した教育に現代がようやく追いついてきた。この教育方針は、次の百年も通用し、世界を養える人材を世に送り出し続ける」



の合格者を目指す学校があつてもいいが、湘南は違ふ。世の中に貢献できる人を輩出するという目標があり、『だから授業はこうあるべき』『行事はこうあるべき』とつづいてきた

三位一体

赤木イズム「智・徳・体」継承

「それは、生徒の多様な才能がいかになく発揮でき、自分の道を突き進むことができる力を育てているから。そうした仕組みをつづけたのが初代校長の赤木愛太郎先生だ」と池辺直孝校長。卒業生初の校長だ。「東大

た北原白秋、山田耕作に依頼。「赤木校長は、白秋に校訓や理想、目指す教育を説明したはず」と池辺校長は続ける。「校歌には『自由の研学』とのフレーズがあり、太平洋戦争前、問題視された。しかし、赤木校長は屈

学校行事

70分授業、対組織競技などさまざまな制度もつづられた。「世

1957年から2002年まで、埼玉県立浦和高校との対抗戦も続いた。初めは運動部だけだったが、文化部も含めた全校挙げての定期戦に発展。池辺校長も卓球部で参加し、「臨時電車を任立てて、1500人くらいが遠征する日本一の対抗戦だったと思う」と振り返る。

学校行事を通して「見える学力」と「見えない学力」「一つとなり、さらに熱心に取り組む部活動もあり、高いレベルでの『文武両道』を身につけた『湘南生』が育てられるという

県立湘南高校創立100周年



県立湘南高校（藤沢市鶴沼神明、池辺直孝校長）が創立百周年を迎え、11月2日、神奈川県民ホール（横浜市中区）で記念式典を開く。「文武両道」の伝統の下、およそ5万8千人（定時制・通信制含む）の有為な人材を輩出し、政治、経済、文化、スポーツなど、各界で活躍している。その歴史を振り返り、「湘南の風を世界へ」との合言葉で次の百年に向けて飛躍する未来を展望する。

企画制作・神奈川新聞社クロスメディア営業局

次の100年へ誓い新た「赤木苑」再整備

校舎玄関横に立つ初代校長赤木愛太郎氏の胸像を囲む庭園「赤木苑」が再整備され、5月にセレモニーが開かれた。写真。百周年記念事業の一環でも、赤木イズムを次の百年も伝えていくことが同窓会「湘友会」が音頭を取り、設計・施工は39回生の富田改さんの手によるもの。

胸像は1954年、赤木校長の徳を慕い、同会が中心になって完成した。さらに61年、周囲を庭園化し、命名。公立高校での校長の胸像は珍しく、同校への功績の大きさが分かる。

48歳で着任し「日本一の学校」づくりを目指した赤木校長は、「天分を發揮し、自由に才能の芽を伸ばすことを旨とすべし」と考え、校則など形式ばった規定をつくらなかった。その自由な校風は今も引き継がれており、セレモニーでは赤木イズムの伝統を守ることを改めて誓っていた。

レガシマネジメントグループ

Legacy

相続専門 日本最大級の実績 60年に迫る歴史

Mission

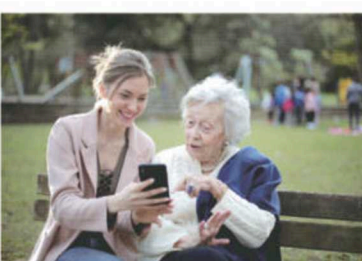
人々の財産を世代を超えて守り、生活と心を豊かにする

Vision

「相続日本一」で培った知恵とテクノロジーでプラットフォームを作り50代 60代の人々と心が通うナンバーワングループとなる

Service

相続のせんせい



相続の不安を専門家が解決するプラットフォーム

Mochi-ya



士業から士業へ仕事をつなぐプラットフォーム

レガシマネジメントグループ

最高執行責任者（COO）

天野 紹子（昭和48年卒業）

〒100-6806 東京都千代田区大手町 1-3-1JAビル

TEL 03-3214-1717

株式会社セブンス

株式会社レガシ

税理士法人レガシ



専門家を、もっと身近に。

<https://www.bengo4.com>

弁護士ドットコム

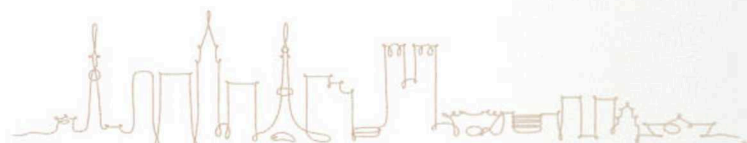
弁護士ドットコム

税理士ドットコム

BUSINESS LAWYERS

CLOUDSIGN

The best solutions for all clients



Auihense www.auihense.jp

弁護士法人Auihense法律事務所

（第二東京弁護士会）

東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー 22F

03-4590-9000



代表弁護士 CEO

元榮 太一郎

Taichiro Motoe

平成6年卒・全69回